

平成 31 年 2 月 15 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 13 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 31 年 2 月 15 日(金) 13:00~15:30
開催場所	三菱総合研究所 CR-B 会議室
参加人数	19 名 村松主査、門脇幹事、佐々木委員、鈴木委員、中田委員、新山委員、西村委員、藤井委員、松井委員、オブザーバー3 名、事務局 7 名
議 事	<p>1. 主査挨拶 村松主査が今回の委員会の開催趣旨の説明を行った。また、原子力規制庁職員の参加に伴う参加報告提出についての説明を行い委員からの了承を得た。</p> <p>2. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>3. 一般公開セミナー開催報告 事務局が一般公開セミナー「原子力のための水素安全対策高度化」開催報告、続けて村松主査が一般公開セミナーでの講演の概要について説明を行った。その後事務局が一般公開セミナーのアンケート集計結果について説明を行った。</p> <p>4. 水素安全対策高度化事業の成果報告 三菱重工業(株)福田が今年度の CFD 水素挙動解析システム構築の成果と、CFD 水素挙動解析システムの用途と水素安全対策高度化への寄与について説明を行った。</p> <p>5. その他 三菱重工業(株)福田が石川迪夫氏の執筆した記事を紹介し、その内容について説明を行った。</p>
備 考	

平成 30 年 12 月 6 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 12 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 30 年 11 月 29 日(木) 13:00~15:00
開催場所	三菱総合研究所 CR-A 会議室
参加人数	21 名 門脇幹事、岩城委員、小川委員、佐々木委員、鈴木委員、谷本委員、中田委員、中村委員、新山委員、藤井委員、オブザーバー3 名、事務局(発表者およびその関係者含む)7 名、講師:吉川典彦(名古屋大学)
議 事	<p>1. 幹事挨拶 門脇幹事から今回の委員会の趣旨説明があった。</p> <p>2. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>3. 一般公開セミナーの準備状況説明 事務局が一般公開セミナー「原子力のための水素安全対策高度化」の準備状況について説明を行った。</p> <p>4. 講演「水素—空気混合気の爆燃危険指数」 名古屋大学吉川典彦名誉教授が講演を行った。 ・爆燃危険指数の導入により、爆燃の危険性を定量的に評価できる。 ・リスク軽減のための設備・設計への活用が可能である。</p> <p>5. 水素安全対策高度化事業の進捗報告:水素発生過酷事故に対する安全性の向上の取り組みについて 三菱重工業(株) 福田が現在の水素安全対策高度化事業の全体像とその中における CFD 解析の位置づけについて説明を行った。</p> <p>6. その他 ・次回の特別専門委員会は 2 月末に実施する予定である。</p>
備 考	

平成 30 年 9 月 5 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 11 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 30 年 8 月 29 日(火) 13:30~15:30
開催場所	三菱総合研究所 CR-B 会議室
参加人数	23 名 村松主査、門脇幹事、小川委員、中村委員、松井委員、佐々木委員、中田委員、藤井委員、新山委員、代理出席1名、オブザーバー3名、事務局(発表者およびその関係者含む)10名
議 事	<p>1. 主査挨拶 村松主査から今回の委員会の趣旨説明があった。</p> <p>2. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>3. 水素拡散・水素爆発解析事例紹介 三菱マテリアルから水素拡散・水素爆発解析の事例紹介があった。</p> <p>4. 水素安全対策高度化事業 今年度計画 事務局が今年度の事業計画について説明を行った。 ・実機スケール解析の海外事例調査については、使用されたソフトウェアの情報も含めて整理すべき。 ・解析コードの公開方法等について、今後検討する。</p> <p>5. その他 ・次回の特別専門委員会は一般公開セミナーより前に実施する予定である。</p>
備 考	